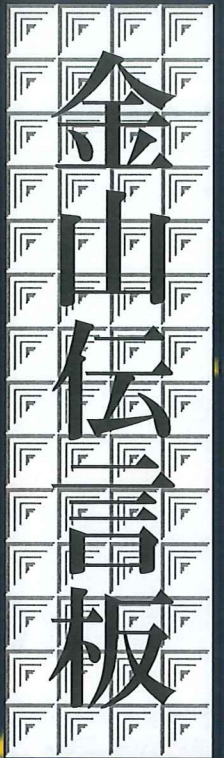


夏の風物詩

ホタルを見よう

ホタル観察会平日の部について、予約制とさせていただきます。1日30名の定員制となっております。1日30名の定員制となっております。1日30名の定員制となっております。

早くも6月になり、だいぶ暑い日が増えてきましたね。初夏といえどホタルが飛び交い始める季節です。日本人は昔からホタルに親しみがありまして、最近ではホタルが身近にいるというところとはほとんどなくなり、実際には見たことがない方も多いのではないのでしょうか。



- 〈期間〉 6/17 (日) ~ 6/23 (土) ※予定
〈時間〉 平日: 19:15~20:30 平日は要予約制
休日: 20:00~21:00 休日は自由参加
〈予約〉 平日は要予約制 1日30名
☎ 0276-22-1448までお電話ください
〈注意事項〉
・懐中電灯、カメラフラッシュは禁止です
・雨天中止、当日17時にHPお知らせします

ホタルはなぜ光るの？

人が言葉でコミュニケーションをとるように、ホタルは光でコミュニケーションをとります。そのため明るい光をホタルのいるところに持ち込むとコミュニケーションがとり難くなるので、やめてあげましょう。



ホタルは何を食べるの？

ゲンジボタルの幼虫はカワニナという貝のみを食べます。しかし、成虫になったホタルは餌を食べず水のみで生活します。そのため、ホタルを捕まえたりして余計なエネルギーを消費させてしまうとホタルは弱ってしまいます。



第147号
発行 金山総合公園
編集 園長 三田芳夫
太田市長手町480
TEL 22-1448
http://gunma-kodomonokuni.jp
ISO 9001, ISO 14001 logos and website URLs.

ホタルを観察する時の天候は！？

ホタルは月の出ている晴れた日にはあまり飛びません。特に満月の晩は月の光が明るいのでほとんど活動しないようです。



飛んでいるのはオス？メス？

飛んでいるホタルは大体オスで、オスはメスに自分をアピールするために飛び回ります。メスは産卵等で体力を使うので、普段は草の上でじっとしています。



地域によって光り方のパターンが違う!?

ゲンジボタルは東日本と西日本で光る間隔が違います。東日本で4秒に1回、西日本は2秒に1回のペースで明滅します。気温によっても明滅の間隔は異なるようです。



【延長期間】
6月29日(金)迄
【利用時間】
8時~17時

イラスト表記
全面立入禁止
車両通行あり
通り抜けOK
ネットあり
コーンあり

災害復旧工事延長のお知らせ
昨年の10月の台風21号の影響で、園内の山頂山麓間の遊歩道で大規模な土砂崩れが発生し、4月9日より復旧作業を行って参りました。当初の予定では5月末に工事が完了する予定でしたが、雨等の影響により工期が延長することとなりました。引き続き山麓山頂間の遊歩道は通行止めとさせていただきます、利用時間は安全確保のため、8時~17時までとさせていただきます。ご不便ご迷惑をお掛けしますが、ご了承下さいませ。すようお願い申し上げます。

ぐんまこどもの国 里山コラムVol.25

「里山の昆虫たち」

6月は雨が多く外に出るのが億劫に感じる方も多いと思いますが、6月は意外と虫捕りが楽しい季節でもあります。カブトムシやクワガタはまだ少ないですが、先月の里山コラムで取り上げたカミキリムシを始め、様々な種類のチョウやタマムシ、トンボが出始めます。水辺や草むら、森の中などでこういった色んな昆虫と出会うことが出来ますので、虫網を持って、ぜひ、自然ふれあいゾーンへ行ってみましょう。

担当 羽賀

シジミチョウの仲間



ウラハミアカシジミ

ミスズイロオナガシジミ

アカシジミ

ミドリシジミ

タマムシの仲間



アオマダラタマムシ

クロホシタマムシ

ナガタマムシの仲間

クロタマムシ

大空へ飛ばそう！ 紙ヒコーキ教室



今月のイベント紹介は「紙ヒコーキ教室」です。このイベントは毎月第二（土）の午後1時から行われ、毎回参加者の定員を上回るほど人気のあるイベントです。「たかが紙ヒコーキ、されど紙ヒコーキ！」紙を折るのは簡単です。しかし、いざ飛ばしてみると、これがなかなか思うように飛びません。そこで講師の出番です！紙の折り方から飛ばし方まで丁寧に指導してくれます。さらに、ヒコーキの飛び具合を見て、より飛ぶよう翼の調整もしてくれます。普段作るヒコーキとは一味も二味も違う本格的な紙ヒコーキを作ってみませんか？ヒコーキの空高く飛ぶ姿にきつと大空の広さを実感できると思いますよ。今月は定例の第二（土）である9日以外にも、16日（土）に「オトナの紙ヒコーキ教室」を実施致します。詳しくはイベント情報誌をご覧ください。

担当 佐藤



金山歴史山歩「ハイキング①」



今回の金山歴史山歩は「ハイキング①」ということで、地図の見方とコンパスの使い方を学びました。参加者18名、スタッフ4名の計22名だったので、2つの班に分かれて行いました。まずはエントランス広場で自分の居る位置の緯度経度を確認し、その後、次のポイントにコンパスを合わせて出発しました。ポイントに着いたら次のポイントにコンパスを合わせて向かい、また次のポイントにコンパスを合わせて進んでいくということを繰り返しました。しかし、野鳥の森のイノシシ柵の扉前まで辿り着き、次のポイントにコンパスを合わせて進んでいくと、その先は藪でした。幸い少し戻った所に以前使われていた道があり、そこから金山の登山道に出ることが出来ました。何とかポイントを見つけながら金山城跡の休憩所で昼食を摂った後、縛らなくても口を閉じられる買物袋の綴じ方を学んでからこどももの国へ戻ってきました。今回道を間違えた原因は、合わせた各ポイントの緯度経度が少しずつずれていった事でした。その小さなズレの積み重ねが道に迷う結果となってしまったようです。「今回はよく知っている場所だったから無事登山道へ戻ることが出来たが、もし知らない場所だったら確実に道に迷っていたらう。」という講師の言葉には重みを感じました。

担当 金子



6月イベント情報

- 2日（土）スタンプづくり
- 3日（日）森の小さな動物たち
- マジック&腹話術ショー
- 9日（土）紙ヒコーキ教室
- 10日（日）父の日イベント
- 緑の中の音楽祭
- 13日（水）自然観察会
- 16日（土）金山歴史山歩
- オトナの紙ヒコーキ
- 17日（日）稲作体験
- 17日（日）～23日（土）ホタル観察会
- 23日（土）草木染
- 24日（日）夢のマジックショー
- 自然と遊ぼう
- 有料遊具無料開放（山）
- 27日（水）自然観察会
- 6/30日（土）～7/8日（日）七夕に願いを書こう

編集後記 担当：白濱

春の陽気から一転、ジメジメした6月らしい天気になってきましたね。ぐんまこどもの国の湿生植物園回りではカエルの合唱がよく聞こえるようになりました。今年からシュレーゲルアオガエルも鳴き始めたので、ぜひ耳を澄ませてはいかがですか？